

Port of Hachinohe

No. **20**
Dec 2006

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 八戸港中国・韓国コンテナ定期航路交流ミッション2006
- 「八戸港セミナー in 盛岡」開催のお知らせ
- 「タイビジネスセミナー」開催
- 地球深部探査船「ちきゅう」試験掘削作業終了
- 中国大連市にて「総合ビジネス商談会」開催
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 青森県輸入住宅促進協議会ニューズレター

八戸港中国・韓国コンテナ定期航路 交流ミッション2006

八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長：八戸市長 小林眞）では、11月12日から17日の6日間にわたり、中国の天津市と大連市を訪問しました。

八戸港の中国・韓国航路は、ソウル市に本社のある南星海運株式会社により1998年に開設されて以来、順調に取扱貨物量を伸ばしており、八戸港の基幹航路となっています。

また、八戸市と天津市塘沽区は2003年から交流を続けており、青森県と大連市は2004年に友好経済交流協定を締結するなど、両地域の経済交流が推進されています。

このような状況を踏まえ、今回のミッションは中国・韓国航路の一層の利用促進を目的としたものです。

（関連記事2ページ）



「八戸港セミナー in 大連」で挨拶する八戸市長



左：八戸市長 右：天津市塘沽区長



濱海森林公園での交流記念行事

天津市（11月12日～14日）

塘沽区との交流記念行事

天津市では、天津市塘沽区人民政府を訪問しました。八戸市と塘沽区は2003年から相互訪問により両地域の経済状況を視察するなど、経済交流に向けた協力関係の構築に努めてきました。

塘沽区長の張家星氏及び中国共産党天津市塘沽区委員会書記の劉長喜氏から、中国政府は天津市を北方経済発展の中心都市として位置付けており、天津濱海新区が、これまで開発の中心となってきた深圳、上海に次ぐ第3の開発地区になっていること、その濱海新区の中心は塘沽区であり、最も発展している地域であると伺いました。また、塘沽区は国家レベルの環境都市・衛生都市でもあるとのこと。今後の天津市及び塘沽区の経済発展、八戸市と塘沽区との経済交流の可能性を、改めて感じました。

今回の訪問では、八戸市並びに、天津市と20年以上にわたって交流を続けている三八五流通株式会社が、両地域の末永い交流を願って桜の苗木を贈呈し、濱海森林公園に植樹を行いました。

天津新港視察

八戸港にとって天津新港は、コンテナ取扱量が中国各港の中で上海に次ぐ、重要な貿易相手港です。同港の05年のコンテナ取扱量は480万TEUであり、上海、深圳、青島に次ぐ中国有数の貿易港です。林立するガントリークレーン、コンテナヤードからはるか離れた場所まで積上げられたコンテナなど、その規模にはただ圧倒されるばかりでした。05年の総貨物量は2億4千万トンですが、10年には3億トンまで拡大する計画だそうです。

経済事情等調査

天津日本人会を訪問し、中国及び天津市の経済状況や、青森県の農水産物の中国への輸出可能性について意見を伺いました。また、天津伊勢丹を訪問し、日本製品の販売状況及び農林水産省の海外常設店舗を視察しました。



桜の植樹の様子 左：八戸市長 右：塘沽区長



天津新港



大連港

大連市（11月15日～17日）

八戸港セミナーin大連

大連市内において「八戸港セミナーin大連」を開催し、貿易・物流関係者ら約70名に八戸港のサービス及び八戸地域についてPRしました。また、セミナー後の情報交換会では、試食していただいた八戸の地酒、珍味、南部せんべいが好評で、八戸港及び八戸地域に大変興味を持っていただきました。

大連港視察

大連港の05年のコンテナ取扱量は、前年比約20%増となる265万TEUを記録するなど好調が続いています。中国東北地方のコンテナ貨物の90%を取扱う物流拠点であり、現在も拡張工事が進められています。大連港の特徴は、コンテナヤードと鉄道が直結していることです。港湾と内陸部との効率的な輸送システムが整備されており、東北三省（遼寧省・吉林省・黒龍江省）の貨物が大連港に集約されています。

経済事情等調査

大連市では、大連アイリスグループ、日本貿易振興機構（ジェトロ）大連事務所、中国・韓国航路を運行する南星海運株式会社大連事務所を訪問し、大連市及び中国東北地方の経済状況、中国・韓国航路についての情報収集・意見交換を行いました。



セミナーの様子



情報交換会の様子

滞在中、建設中の高層建築物や拡張工事中の港湾施設、街路や市場を埋め尽くす人たちの活気から、著しい成長を続ける中国経済を感じることができました。今回のミッションを契機に、八戸と中国を結ぶ、中国・韓国航路の更なる利用拡大が期待されます。

「八戸港セミナーin盛岡」開催のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、北東北の皆様には、八戸港の航路・補助制度等のサービスをご紹介するため、毎年セミナーを開催しています。

今年度は、盛岡市において下記のとおり開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成19年2月14日(水) 15:30~18:30

場所：ホテルメトロポリタン盛岡（岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44 TEL 019-625-1211）

内容：◆セミナー

4階「姫神」15:30~17:00

- あいさつ 八戸港国際物流拠点化推進協議会 会長 八戸市長 小林 眞
- 八戸港の紹介
- 講演（内容未定）
- 質疑応答

◆情報交換会

4階「早池峰」17:00~18:30

皆様との交流の場をご用意しております。立食形式（無料）となっておりますので、お気軽にご参加ください。

申し込み・お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内

八戸港国際物流拠点化推進協議会

TEL:0178-43-2111（内線308・609）

「タイビジネスセミナー」開催

八戸市は、9月29日、八戸市庁において「タイビジネスセミナー」を開催し、荷主・物流関係者など貿易関連企業の皆様約30名が参加しました。

セミナーでは、内閣府食品安全委員会事務局評価課課長補佐の都築伸幸氏から「最近のタイ食品市場（日本の食品について）」と題してご講演いただきました。

都築氏は、平成14年10月から今年2月まで、日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコクセンターにて農産物のタイへの輸出促進を担当されておりました。

その経験から、タイでは日本食品が非常に好まれており、タイ市場へ参入するためには、見本市や物産展に参加し、商品の情報提供や試食させることが必要とのことでした。また、調査団の派遣やバイヤーの招聘、タイ語のパンフレ

ットの作成等の行政の支援も重要とのアドバイスがありました。

参加者からは、「タイ市場の実態について非常に分かりやすく理解することができた。売り込みのノウハウが分かった。」との感想をいただき、タイとの取引に興味を持っている皆様にとって、大いに参考にしていただけたものと思います。



講演中の都築氏



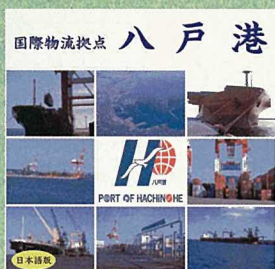
講演を熱心に聞き入る参加者

八戸港PR用DVDを作成

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港を広くPRするため、八戸港を紹介するDVDを作成しました。

英語版、中国語版、韓国語版なども順次作成予定です。

興味のある方は是非お問い合わせください。



お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内

八戸港国際物流拠点化推進協議会

TEL:0178-43-2111（内線308・609）

地球深部探査船「ちきゅう」 試験掘削作業終了



海洋研究開発機構（本部：神奈川県横須賀市）は、地球深部探査船「ちきゅう」（57,087トン）による試験掘削を、八戸港のポートアイランドをベース基地として、2005年8月から10月まで、下北半島東方沖で行いました。

「ちきゅう」は地球内部の調査を行うために建造された地球深部探査船です。船の長さは210m、幅は38mあり、その外観で最も特徴的なデリックと呼ばれる掘削用のやぐらは、船底からの高さが約130mあります。このデリックで組立てたライザーパイプやドリルパイプと呼ばれる掘削設備で、海底と船を結んで地球深部までの掘削を行います。

運用試験は2005年7月に開始され、今回初めてドリルを使用した本格的な深部掘削のシステム試験を行いました。「ちきゅう」は最新の掘削技術により海底7,000mまで掘削して試料を採取できる能力があり、人跡未踏のマントル物質を採取することも運用目的の一つです。

本格運用されれば、地震の巣である海洋プレートを調査することで、地震の発生メカニズムを解明し、その予知に役立つものと期待されます。また、海底の地殻には地球の過去の記録が残されています。この地殻を採取して研究することで過去の地球環境の変動を解明し、これからの環境変動の予測と防止に活用できるものと考えられます。他にも、地球の深部には原始地球に類似した環境が残っており、微生物などが確認されれば生命誕生の謎を解き明かす鍵となり、人類にとって有用な情報となる可能性も秘めています。

海上に浮かんだ船から何千mもの深さまで掘削するためには、決められた一点に船の位置を固定する必要がありますが、「ちきゅう」は通信衛星によるGPSを活用し、360°回転できる6基のプロペラで数センチの誤差で船の位置を保つことが可能です。

「ちきゅう」内部には、掘削のための設備はもちろんですが、採取したコアをすぐに調査できるように様々な研究施設も備えています。

X線による断層撮影を行うCTスキャナや、空気による汚染を防ぎながらサンプル採取や培養等が行える微生物実験装置、地球の磁場の影響を受けない部屋などで、乗り組んだ研究者が即座に調査できるようになっています。



地球深部探査船「ちきゅう」（中央のやぐらが掘削用のデリック）



掘削装置を操作している様子

今回、下北半島沖で行われた掘削試験は、2,200mまでの掘削が目標でしたが、悪天候の影響で装置の一部が損傷し、648mまでのサンプル採取で終了しました。このサンプルからは約9万年前の九州・阿蘇山が噴火した際の灰が確認され、更に微生物などを採取の上、引き続き研究が進められる予定です。

「ちきゅう」はアメリカや日本が中心となっている統合国際深海掘削計画を担う中心的な船として、これから各地での運用試験が予定されています。今回の掘削結果の分析も含め、今後の活躍が大いに期待されます。



海底から採取されたコアサンプル



断層撮影用のCTスキャナ

お問い合わせ先

独立行政法人海洋研究開発機構
TEL : 045-778-5640 <http://www.jamstec.go.jp>

中国大連市にて「総合ビジネス商談会」開催

青森県は、友好経済交流協定を締結している中国大連市で9月21日、昨年に続き二回目となる「2006大連総合ビジネス商談会」を開催しました。当日はIT、食品製造、電気、木材加工などの業種から昨年を上回る46の企業・団体が参加。中国側からは約200社が集まり、自治体が単独で海外で開催するビジネス商談会では最大規模となりました。今回は商談会の翌日に希望する会社との継続商談の場を設けたことにより、より踏み込んだ取引や提携交渉が行われました。通常、中国企業との商談の成立までは半年から1年はかかるため、県では来年度以降も支援体制の充実・強化を図ることにしています。

また、商談会に併せて、22日には大連理工大学で「青森・大連ITビジネスプランコンテスト」も開催されまし



ITビジネスコンテスト授賞式の様子



にぎわうビジネス商談会場

た。これはIT企業で組織する(社)青森県情報サービス産業協会の企画によるもので、IT産業に力を入れている大連市の理工系学生から新しい発想と実現可能な事業計画を募集することにより、現地の大学との交流強化や有能な人材発掘を行い、企業間にとどまらず大学をも巻き込んだ両地域間同士の新しい連携モデルの構築を目的としています。当日は大連市内の理工系学生から25件の応募があり、一次審査を通過した10組がビジネスプランを発表。うち4組が入賞しました。

お問い合わせ先

青森県庁 商工労働部 海外産業経済交流推進チーム
TEL：017-734-9730 FAX：017-734-8119

「沼館緑地公園」に名称決定

「沼館緑地公園」は、ウォーターフロントを活用した市民が集い、憩い、賑わう複合空間の創出を目的として、平成8年度から青森県が八戸港河原木地区に整備を進めてきた港湾緑地です。

築山や遊具、水辺にはボードウォーク(板張りの遊歩道)が設置されており、水際を活かした空間となっています。

これまで、「(仮称)沼館緑地」としておりましたが、公園整備の完成に伴って、名称を公募したところ、31件の応募がありました。

周辺立地企業、NPO法人、地区町内会などで構成される選考委員会において、厳正なる審査を行った結果、市内在住の夏堀郁子さんの「沼館緑地公園」に決定しました。

隣接する岸壁では、八戸港の観光遊覧船「シャーク



整備の進んだ沼館緑地公園

号」が発着しているほか、周辺は商業施設やスポーツ施設、温浴施設の進出により賑わっていることから、多くの人に利用されることが期待されます。

※「港湾緑地」とは

港湾における就労環境や生活環境の向上、良好な自然環境を保全するための施設です。

八戸港には、野球場のある「北沼港湾運動公園」、海釣り施設のある「八太郎3号ふ頭緑地」、シーガルブリッジに隣接する「河原木1号ふ頭緑地」等が整備されています。



お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL：0178-43-2111 (内線338)

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2006年12月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ、ワシントンD.C）の6名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけることになっておりますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308・609）までご連絡ください。

REPORT1

マニラレポート



アンデス スミトロニクス インクス
工場長
細川 進さん

八戸市民の皆様こんにちは。3年ぶりに協力員をさせて頂くことになりました細川です。これからも皆様のお役に立てるよう努力いたしますので宜しくお願いもうしあげます。また前任の加賀田様ありがとうございました。

今回のレポートは去る9月28日(木)に発生しました台風15号(Milenyo)についてご報告いたします。

過去のレポートでも気象状況や台風にふれておりますが、今回の台風はフィリピン共和国でも11年ぶりとなる大型被害となっております。私自身、過去数年で直面したことの無い大きな被害状況でした。

- 1) 高速道路の水害や陥没
- 2) 床上浸水、家屋の崩壊
- 3) 首都圏や工業団地、広域での水道・電気不通。(約 3日～7日、ひどい所は10月11日現在も不通)
- 4) 広告塔、電柱の崩壊等

皆さん、二日以上の水道・電気不通の経験が最近ありますか？多分大方の人は経験無いと想像をいたします。トイレに行っても水が出ない、冷蔵庫内の飲食物は食べられない、携帯電話も充電出来ないし当地フィリピンでは暑くて寝付けられないなど、便利な生活に慣れすぎたことを実感いたしました。

昨今の世界情勢や異常気象等、テレビ・新聞を通じて瞬時に知ることが出来ると思っておりますが、いざ事が起ると普段の準備がい

かに大切かを痛感いたしますし、他人事ではないと思えました。県南地域は八戸に代表される海外大型貨物船の窓口ですし、近郊ではアメリカ軍基地、原燃再処理施設など多くの物資と人が出入りしております。いつ何が起きても不思議ではない今日、準備態勢は大丈夫ですか？私は『後でも大丈夫』と思う自分の気持ちが誤りであることを感じました。

一方、十和田湖、奥入瀬溪流に代表される美しい自然を基盤とした観光活動も盛んです。自身、このすばらしいふるさとを大切に、未来まで継続出来るようにするためにも、協力員として更なる貿易活動PRや国際協力へお役にたてるよう、微力ですが努力いたします。これからも宜しくお願いいたします。



陥没した高速道路



崩壊した家屋



豊田通商シンガポール社
ゼネラルマネージャー
佐々木元治さん

シンガポールにおけるヘイズ(煙霧)について

故郷八戸の皆様、如何お過ごしでしょうか？今回初めてのレポートとなりますが、現在当地で問題となっておりますヘイズ（煙霧）について報告しようと思います。

ヘイズ（煙霧）は隣国インドネシアのスマトラ島やカリマンタン島で焼畑の火が森林に燃え移り、山火事が原因で起こる煙霧です。この煙霧は5月から9月にかけて吹く南西モンスーンに乗り、乾燥気候が続くとシンガポール・マレーシアを直撃し、両国に大気汚染および視界不良等の被害を与えます。

煙霧による具体的な症状としては、咳・くしゃみ、喘息、気管支炎、結膜炎等があり、日本における花粉症に似たものですが、火事の後の焦げ臭さを伴っているために、喉をやられる方も多く見られます。（私自身も、花粉症の煩わしさからここ数年逃げる事が出来たと思っていたところ、煙霧で喉・鼻・目をやられてしまいました。）

大気汚染を表す指標として、シンガポール国家環境庁（NEA）は下記大気汚染指数（PSI）を毎日1時間毎に発表。

- 0-50 : 良好
- 51-100 : 普通
- 101-200 : 不健康
- 201-300 : 非常に不健康
- 301以上 : 危険

同指数が101以上の不健康レベルに達した場合には、心臓・呼吸器系疾患のある患者さんは野外での活動を控え、一般の人も屋外での激しい運動を控えるよう勧告している他、201以上になった場合には、お年寄りおよび心臓・呼吸器系疾患のある患者さんには



事務所から見た風景（指数約40）



アパートから見た風景（指数約50）

屋内に留まって運動を控えること、一般の人も屋外での激しい運動を行わないよう勧告しております。（それでも運動不足の小学生・中学生には良くない状況です。）

過去最高の指数は1997年9月18日に記録した226ですが、10月7-10日には128まで上昇し、その後は降雨のせいと現在11月6日時点では50近辺で推移しています。（指数50と言っても、添付写真の通り、かなりのもんです。）

煙霧は健康面だけではなく経済面にも大きな影響を与え、1997-98年にはシンガポール・マレーシア・インドネシア三国において森林・農作物の消失・観光客減・煙霧対策費用等により約1,200億円の被害が発生したとのことです。

今後エルニーニョ現象が強くなった場合には、1997年と同等若しくはそれ以上の被害が発生すると予想している気象専門家もあり、今後の天候動向に注目が集まっております。

当地ご旅行または出張を予定されている方は、煙霧に十分ご注意ください。やっとな花粉症から開放されたかと思っていた矢先に再発する可能性もありますので。

八戸港の貿易概況報告 (2006年1月～10月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額においては、紙製品が不調であったが、一般機械・魚介類・フェロニッケルの好調により増加(前年比131.5%)。主な仕向国として、中国・韓国・オランダなどが挙げられる。輸入額においては、亜鉛・肥料・一般機械の好調により増加(前年比114.3%)。主な仕出国として、ドイツ・カナダ・中国などが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に輸出、輸入ともに前年比102.2%と微増。

■平成18年1月～10月の貿易額 (単位:千円)

※資料:八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	4	6,779,137	66.7%	63.6%
フェロニッケル	MT	108,231	45,009,001	105.2%	153.4%
有機化学品	KG	1,359,250	438,347	106.0%	117.9%
紙 製 品	MT	1,845	165,527	34.1%	22.6%
一 般 機 械	MT	3,995	6,767,826	161.9%	957.6%
鉄 鋼 製 品	MT	1,897	469,689	17.8%	47.2%
銅 製 品	MT	5,958	331,187	71.9%	74.9%
魚 介 類	MT	11,084	1,155,437	222.3%	201.5%
鉄 鋼 く ず	KG	41,749,760	1,302,574	97.6%	113.4%
電 気 機 器			12,392,447		107.9%
そ の 他			1,526,198		96.2%
合 計			76,337,370		131.5%

●コンテナ貨物通関額 ()内は前年対比

輸 出	452億3806万 (141.8%)
輸 入	303億4763万 (137.0%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	6,452TEU (98.7%)
輸 入	11,091TEU (104.3%)
合 計	17,543TEU (102.2%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	640,866	11,930,076	99.1%	110.1%
とうもろこし	MT	717,731	12,158,142	103.0%	105.7%
ニッケル鉱	MT	1,915,163	15,976,870	82.2%	91.7%
木 材	CM	55,937	1,568,013	59.4%	69.0%
亜 鉛 鉱	MT	106,441	11,261,395	81.8%	208.2%
大 豆 粕	MT	226,877	7,145,476	109.1%	103.2%
魚 介 類	MT	11,307	3,636,300	127.2%	95.4%
飼 料	MT	39,854	1,348,636	78.0%	89.1%
石 炭	MT	601,064	4,846,608	94.3%	96.8%
こうりゃん	MT	142,240	2,537,734	96.4%	101.7%
ウッドパルプ	MT	13,062	907,621	72.7%	90.7%
カオリン	MT	125,100	2,992,085	128.3%	152.1%
肥 料	MT	13,871	361,707	115.5%	126.5%
重 油 等	KL	117	7,022	63.9%	73.4%
コークス等	MT	103,066	2,436,366	105.1%	91.5%
鉛 鉱	MT	137,104	2,634,533	245.2%	93.4%
金 属 製 品	MT	4,388	1,343,062	144.7%	113.2%
その他穀物	MT	5,967	98,638	55.9%	54.8%
糖 蜜	MT	4,579	78,153	108.7%	142.6%
一 般 機 器	MT	1,881	2,218,171	142.2%	302.3%
そ の 他			29,153,833		131.5%
合 計			114,640,441		114.3%

アジア向けに伸びる 農林水産物輸出

～「ジェトロアグロトレード・ハンドブック2006」より～

日本の農林水産物の輸出額(ドルベース)は、従来第1位の米国を香港、台湾、韓国、中国などアジア勢が追うパターンが続いていましたが、2005年は香港が米国を抜いて初めて首位となりました。香港、台湾および中国向け輸出増加率はいずれも前年比2桁台で平均以上の伸びとなっています。日本国内の産地・自治体関係者が購買力の高まりつつある富裕層に照準を当てて積極的に輸出・販売活動を展開した成果ともいえるでしょう。尚、上位5カ国のシェア(74.6%)、同10カ国のシェア(85.0%)は、前年シェアをそれぞれ1.5ポイント、2.4ポイント上回り、輸出先は集中化の傾向がみられます。

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877

〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

主要相手国・地域別農林水産物輸出額

(単位:100万ドル,%)

順位	国・地域	2004年	2005年	2005年	
				前年比	構成比
2005年					
1	香港	584	675	15.6	18.5
2	米国	610	662	8.5	18.2
3	台湾	481	580	20.6	15.9
4	中国	379	428	12.9	11.8
5	韓国	386	371	△3.9	10.2
6	タイ	124	179	44.4	4.9
7	シンガポール	75	79	5.3	2.2
8	オーストラリア	40	42	5.0	1.2
9	ドイツ	40	40	0.0	1.1
10	グアム	38	40	5.3	1.1
上位10カ国・地域計		2,757	3,096	12.3	85.0
世界計		3,338	3,642	9.1	100.0

(出所)財務省貿易統計よりジェトロ作成。

農産物輸出額

(単位:100万ドル,%)

	農産物合計		農産品			畜産物	蚕糸
	数量	価格	穀物	果実	野菜		
2003年	1,713	1,590	168	103	42	120	3
2004年	1,905	1,771	184	97	46	122	12
2005年	1,995	1,842	176	130	50	147	6
前年比	4.7	4.0	△4.3	34.0	8.7	20.5	△50.0

(出所)財務省貿易統計

水産物輸出額

(単位:100万ドル,%)

	水産物合計		魚(生鮮・冷蔵・冷凍等)	甲殻・軟体動物	水産缶びん詰	真珠	その他の水産物
	数量	価格					
2003年	1,168	470	470	201	256	207	34
2004年	1,364	610	610	181	289	248	36
2005年	1,574	690	690	215	368	267	35
前年比	15.4	13.1	13.1	18.8	27.3	7.7	△2.8

(出所)財務省貿易統計



輸入住宅の基礎知識

「輸入住宅」という言葉を聞いて、どんな住宅で、どういう特徴があるのか、すぐに思い浮かぶでしょうか？このコーナーでは、「輸入住宅」に関する基本的な情報をご紹介します。

輸入住宅の耐火性

木材を多く使った輸入住宅は火災に弱いと思われがちですが、必ずしもそうではありません。一定の厚さをもった密度の高い木材は焼け落ちにくいという特徴があります。鉄やアルミは、高熱で燃えるということはありませんが、変形してしまいます。それに対し、輸入住宅に使われる木材は、その厚さと密度の高さにより、表面が炭化しても芯まで燃えるのに時間がかかり、その間の強度も維持されます。また、枠組みパネルを使った面構造は、梁など主要木材の露出が少ないことになり、このことも強度維持の一因となります。

輸入住宅では、木材が本来持つ特性による耐火性のほかにも火災対策が施されています。枠組みパネル内にはファイヤーストップ材という火災拡大防止材を入れて、火の回りを防ぐことができます。壁や天井に使われる断熱材や石膏ボードは、炎が当たると水蒸気を発散し木材の発火を遅らせる働きがあり、延焼を防ぐ効果があります。また、火災の際に窓が壊れると新しい酸素が供給されて火の勢いが増してしまいますが、一定の厚みをもった木製サッシはアルミサッシよりも変形しづらく、長時間窓ガラスを守ることができます。

前号の輸入住宅の特徴でも述べたとおり、“面”で家を構成する枠組壁工法は、建物全体の気密性を高めています。この気密性の高さも輸入住宅の耐火性を高めることにつながります。万が一、ある部屋で出火してもドアや窓を閉めてしまえば、新たに酸素が供給されなくなり、他の部屋に火が燃え移りにくいということになります。



AIRA会員紹介

今回の会員紹介は、株式会社 角弘様です。

株式会社 角弘様は、明治16年に「弘前農具会社」として近代農具関連の製作販売を目的に、当時としては珍しく15名の民間個人資本により設立されました。社名は、弘前の「弘」と多角経営の「角」を採ったものだそうです。

この123年間、社会の変化に柔軟に対応しながら「よい製品を、より安く」をモットーに、現在は建設から暮らしまで幅広い事業を展開し、カクヒログループを形成して、地域社会のニーズに応えるべく活動をされています。常に謙虚に一致協力、創意工夫を重ね「人に優しく暮らしに深く」の精神のもと、これまでの経験を活かしながら、地域社会の繁栄に微力を尽くしたいとの事で、今後の更なる活動が期待されます。



株式会社 角弘

本社 青森市新町二丁目5番1号 営業地 東北4県
資本金 3億7,800万円 事業拠点 19ヶ所

<取扱商品>

- 鉄鋼 ● 土木 ● 建築資材 ● セメント ● 機械工具 ● 工事 ● 建材
- 硝子サッシ ● 住設機器 ● 生活用品 ● 住宅リフォーム ● 保険
- オートリース ● 旅行業 ● 電子機器 ● 不動産 ● 燃料

AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへ参加ができる。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加（自己負担あり）ができる。

AIRA: 青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel : 0178-72-1505 Fax : 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

■AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4F	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市浜館一丁目18-10	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカンスタンダードログホームズ	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

コンテナ航路		船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島、大連) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 東京 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	4
光陽(韓国)	5	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	9	9
蛇口(中国)	12	13
シンガポール	14	14
ジャカルタ(インドネシア)	16	17
バンコク(タイ)	18	18
レムチャバン(タイ)	18	18
マニラ(フィリピン)	18	21
ホーチミン(ベトナム)	18	18
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	25
オークランド(ニュージーランド)	31	34
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	38

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸運送株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(代表) FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp



登録商標R100の名称を使用しています。

貿易Q&A

(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 輸送中に事故があった場合、補償制度はあるの？

A 貿易には様々なリスクが考えられますので、必要に応じて保険をかけることとなります。輸入者、輸出者どちらが保険を手配するかは、売買契約の条件によって異なります。

保険には大きく分けて、輸送中の貨物に発生する損害に対する海上保険と、戦争や国による輸出入制限など取引の危険に対応する貿易保険があります。海上保険は民間の保険会社が扱いますが、貿易保険は政府が運営しています。

海上保険で填補される危険として、船の沈没、座礁、火災、衝突や、積込み時の危険、荒天時の潮濡れなどがあります。ただし、梱包が不十分な場合は、荷扱い中や輸送途中に損害が発生しても補償はされません。コンテナ輸送であっても、個々の貨物は荷主側で十分な梱包をする必要があります。また、近年の海上輸送日数は大幅に短縮され、安全性も向上していますが、海上での荒天の影響は大きいいため、船の遅延によって発生した損害は補償されません。

編集後記

今回ミッション団が訪問した中国は、経済大国であるだけでなく、陸地面積でも世界で3番目の広さをもっています。

ところが、中国では1つの標準時を全土に適用しているので、あれだけ東西に広いにもかかわらず国内での「時差」がありません。標準時には北京時間が使われていて、太平洋側の東部は問題ありませんが、新疆ウイグル自治区などの西部になると、時計と実際の生活時間に大きなずれが出てしまいます。

このような標準時と実際の生活のずれを調整するために、西部ではローカルな時間も使われています。例えば、列車の時刻表は北京時間なのに、バスの時刻表はローカル時間だったり、漢民族は北京時間、ウイグル族はローカル時間を使うということもあるようです。

中国西部を訪問するときは、ちゃんと時間を確認することが必要ですね。